

# どんど焼き

R7. 1. 12

会場:「ほたるの里」南の塩原様の畠

どんど焼きとは、松の内まで飾っていた松飾りやしめ縄、お正月にしたためた書き初め、前年に授与されたお守りなどを持ち寄って、竹やわらで作った「やぐら」と共に、無病息災や五穀豊穣を願ってお焚き上げする行事のことです。

田口では、近年はやぐらを組まずに規模は縮小されていますが、ふるさとの伝統行事は続けていきたいものです。



どんど焼きには、縁起の良い言い伝えがあります。「書き初めを燃やした火が高く上がる」と、字が上手くなる、賢くなると云われています。「どんど焼きの火で焼いた餅や団子などを食べる」と、一年間、風邪をひかないと云われています。

今年は子どもの参加が非常に少なかったです。来年は、書初めを燃やしたり、餅を焼いて食べましょう。



田口で行われていた「どんど焼き」について、田口町ホームページ「田口町歴史・文化財の遺跡等」の中の「田口町の伝統行事や子供たちの遊び等」で解説していますのでご覧ください。

また、2014 年のどんど焼きを YouTube に投稿していますのでご覧ください。「どんど焼き 2014 前橋市田口町」で検索してください。